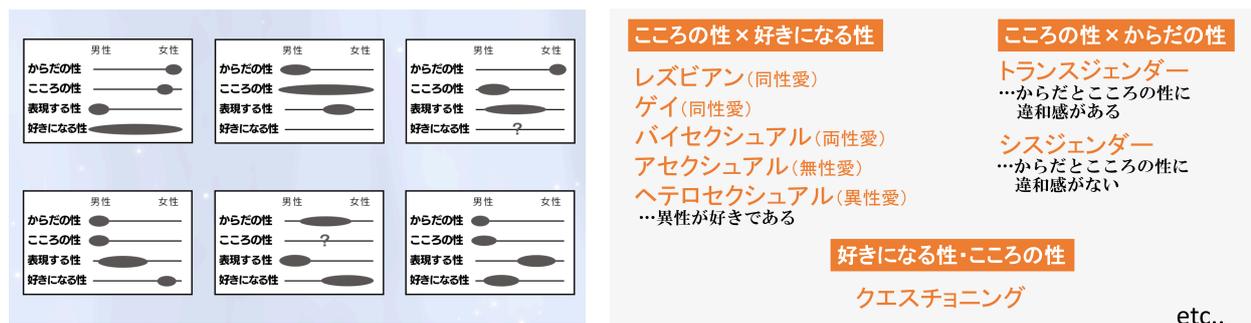


# 「私たちの選択肢 自分らしく生きるって？」資料

## ①多様な性と「自分らしさ」

私たちは日頃、自分たちを「男」と「女」の二つの性に区別することが多くあります。しかし、ドラマで紹介されていたように、性は多様で、からだの性、こころの性、表現する性、そして好きになる性など、それぞれの要素のあり方は人によってさまざまです。もちろん、どちらとも決められない、どちらもしっくりこないと感じても、それがその人の「自分らしさ」と言えます。



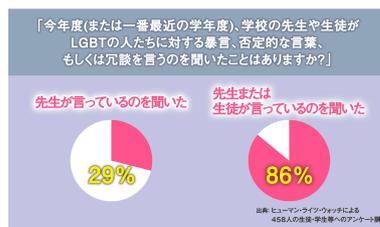
## ②カミングアウトとアウティング

自分の性について、周囲の人に告白することをカミングアウトと言います。カミングアウトするかしないかに正解はなく、誰に伝えるかも含め慎重な判断が必要です。また他の人がLGBTなどであることをその人に了解なく別の人に知らせてしまう行為をアウティングと言い、絶対にやってはいけないことです。実際に、アウティングをされた人が苦しんでいるケースも生じています。



## ③心無い言葉や態度が、誰かを傷つけていることも

残念ながら、これまでの日本社会では、多様な性のあり方が理解されてきませんでした。国際的な人権NGO、ヒューマン・ライツ・ウォッチの調査によると、日本の学校でLGBTの人たちに対する暴言、否定的な言葉、あるいは冗談を先生が言っているのを聞いた人は29%、先生または生徒が言うのを聞いた人は86%にもなります。



## ④私たち一人一人ができることは何か

もしあなたや、あなたのまわりの人が、性について悩みを抱えていたら、誰かに相談することができるでしょうか。心ない言動や態度が、誰かを傷つけているようなことはないでしょうか。どうしたら誰もが安心して過ごせるようになるのか、また、お互いに支えあっているのか、ぜひ考えてみてください。



【監修】

藤川大祐氏 (千葉大学教育学部教授) / 片岡洋子氏 (千葉大学教育学部教授)